

平成 27 年度 第 226 回教育研究審議会議事要録

日 時 平成 27 年 4 月 28 日 (火) 13 : 30 ~ 14 : 15
場 所 北方キャンパス本館 E701 会議室
出席者 近藤学長、松尾副学長、梶原副学長、漆原副学長、柳井副学長、江本事務局長、大平外国語学部長、前田経済学部長、田中文学部長、二宮法学部長、眞鍋地域創生学群長、龍国際環境工学部長、中尾基盤教育センター長、田村慶社会システム研究科長、王マネジメント研究科長、小野学生部長、田村大教務部長、田島入試広報センター長、佐藤情報総合センター長、日高地域貢献室副室長、後藤評価室副室長

配布資料

- 1-1 欠員補充申請書 (法学部)
- 1-2 欠員補充申請書 (国際環境工学部)
- 1-3 教員の異動に係る組織人事委員会審議結果/教員採用申請書 (環境技術研究所)
- 2 学長選考会議委員の選出について
- 3 平成 26 年度公開講座実施状況/平成 27 年度公開講座事業計画一覧
- 4 人を対象とする研究に関する倫理審査委員会 審査状況報告

第 1 号 教員の採用について

* 資料 1-1 のとおり、法学部からの申請に基づき、平成 27 年 3 月 31 日付けで割愛退職した山本光英教授の後任として、刑法学担当教員 1 名の欠員補充について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

* 資料 1-2 のとおり、国際環境工学部からの申請に基づき、平成 28 年 3 月 31 日付けで定年退職する石川精一教授の後任として、環境プロセス分野 (大気) 担当教員 1 名の欠員補充について提案。

○ 平成 28 年 3 月 31 日付けで定年退職予定の石川教授の欠員補充は、半年前倒して平成 27 年 10 月 1 日付けとする。また、環境分析化学における大気汚染の研究を進めるため、担当分野は環境プロセスの水処理分野から大気分野に変更するもの。

● エネルギー循環化学科には水処理分野を専門とする教員が他に在籍しているため、当該分野の科目担当は十分に対応可能とあるが、同分野の教員の負担は過重なものにならないか。

○ 同分野の教員は複数名在籍しているため、支障はないと考えている。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

* 資料 1-3 のとおり、国際環境工学部から環境技術研究所へ教員定数を 1 名異動し、同研究所のロボットに関連する電子情報通信分野担当教員 1 名の採用申請について提案。

○ 国際環境工学部情報メディア工学科で現在欠員となっている教員定数 1 名を環境技術研究所に異動することについて、4 月 28 日に開催した第 11 回組織人事委員会において、関係部局長の出席のもと、審議を行った。各部局の同意が得られていること、担当科目についての調整がなされており教育面では支障がないこと、地域ニーズを踏まえた先進的な研究・開発を進めていくことは本学に必要な不可欠であることを確認し、教育研究審議会に提案することとしたものである。

○ 本教員定数の変更が承認された場合、環境技術研究所専任教員としてロボットに関連する電子情報

通信分野担当教員1名を採用したい。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

（議案承認の後、選考委員会を設置）

第2号 学長選考会議委員の選出について

* 資料2のとおり、平成27・28年度の学長選考会議委員の選出方法について、事務局からA～Cの3案を例示し提案。

- 学長選考会議規則第3条第1項第2号に規定する教育研究審議会からの委員3名の選出方法を決定してもらいたい。また、選挙は5月19日の教育研究審議会で実施する。なお、期日前投票は5月7日から5月11日の間に事務局総務課事務室において実施する。

【議長】学長選考会議委員の選出については、A案とすることで承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

報告

- ① 平成26年度公開講座実施結果及び平成27年度公開講座実施計画について、資料3のとおり報告があった。
- ② 平成26年度人を対象とする研究に関する倫理審査委員会の審査状況について、資料4のとおり報告があった。
- ③ 次回の審議会を平成27年5月19日(火)に開催する予定である旨、報告があった。